

平成27年度
南アルプス世界自然遺産登録推進事業
(ユネスコエコパーク推進事業)
実績報告

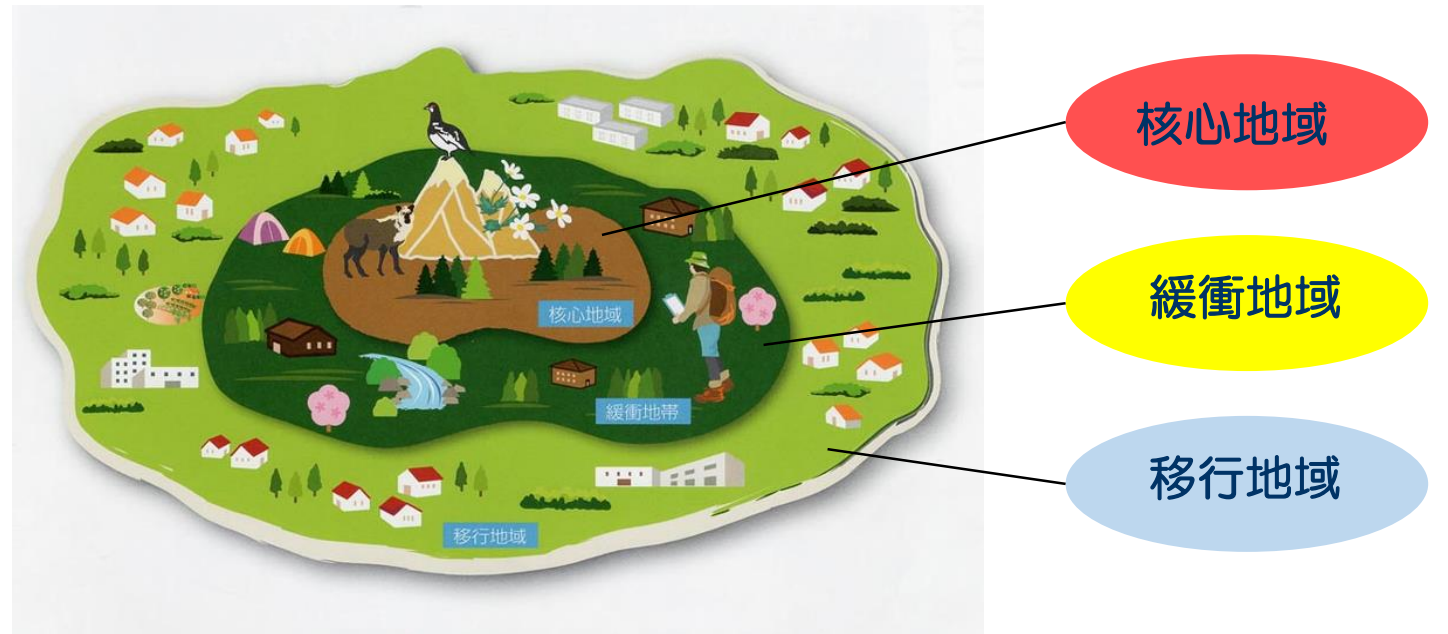
未来につなげよう
南アルプスユネスコエコパーク

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークとは、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）」を目的として、ユネスコが認定する取り組みです。具体的には、「地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展を目指す取り組み」で、世界では「生物圏保存地域（BR: Biosphere Reserves）」と呼ばれて、現在**120カ国669地域**、**日本では7地域が登録されています。（平成28年3月現在）**

南アルプスユネスコエコパークは、山梨県、静岡県、長野県にまたがる、日本最大のエリアを持つエコパークで、山梨県では、北杜市のほか、南アルプス市、韮崎市、早川町が登録されています。

総面積	302,474ha
核心地域	24,970ha
緩衝地域	72,389ha
移行地域	205,115ha



日本のユネスコエコパーク

Shiga Highland Biosphere Reserve
志賀高原生物圏保存地域

Mt. Hakusan Biosphere Reserve
白山生物圏保存地域

Tadami Biosphere Reserve
只見生物圏保存地域

Aya Biosphere Reserve
綾生物圏保存地域

Minami-Alps Biosphere Reserve
南アルプス生物圏保存地域


Mt. Odaigahara and Mt. Omine
Biosphere Reserve
大台ヶ原・大峯山生物圏保存地域

Yakushima Island Biosphere Reserve
屋久島生物圏保存地域



南アルプスユネスコエコパークのエリア

エリアは、南アルプス国立公園を中心とした地域

 北杜市は、白州・武川をエリアとして登録

核心地域・・・国立公園の特別保護地区など自然環境を守らなければならない大切な地域で、北杜市では南アルプス国立公園の地域で適切に保護されています。

緩衝地域・・・核心地域の周辺で、環境教育、野外活動、調査活動等に利用できる地域であり、山梨県立自然公園の地域です。

移行地域・・・私たちが暮らしを営んでいる地域で、様々な社会活動が行われています。

白州・武川エリアの資源

山・・・甲斐駒ヶ岳、地蔵ヶ岳、日向山など

景観・・・山岳景観日本一、尾白川溪谷、

精進ヶ滝、桜、里山、田園など

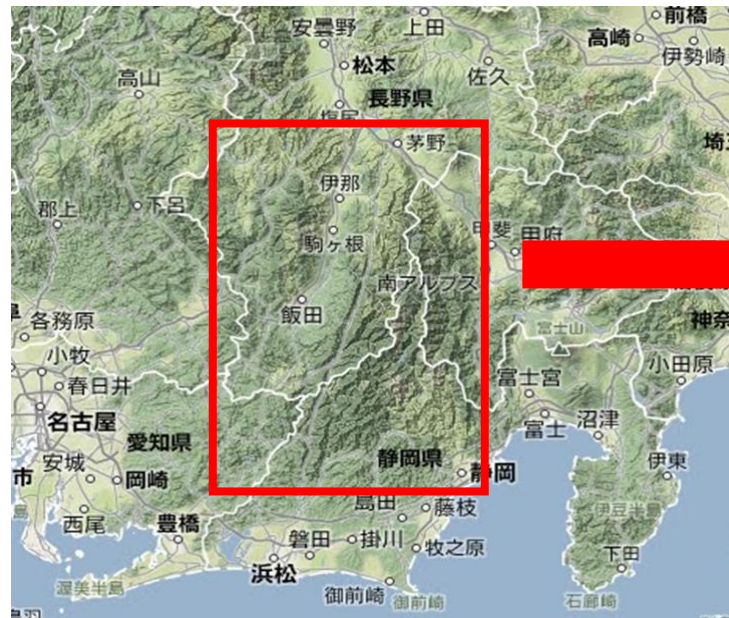
水・・・清流(尾白川、神宮川、大武川、

石空川など)、ミネラルウォーター生産量が全国の約3割を占める

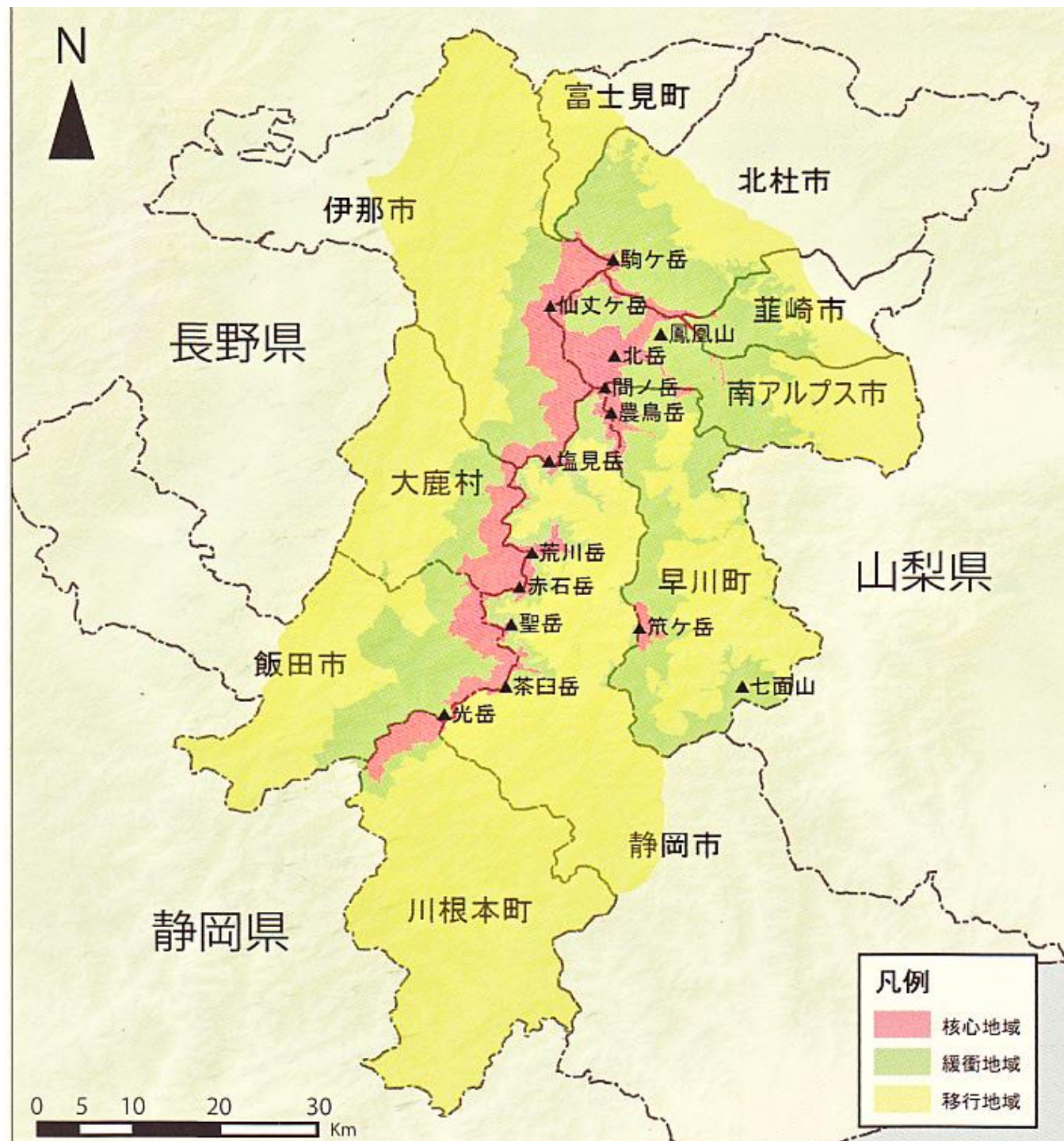
産物・・・米、そば、長芋など

歴史・文化・・・台ヶ原宿、神社、山岳信仰、民話、虎頭の舞、奉納相撲、大和神楽など

南アルプス ユネスコエコパーク区域図



総面積 302,474ha



ユネスコエコパークの魅力は

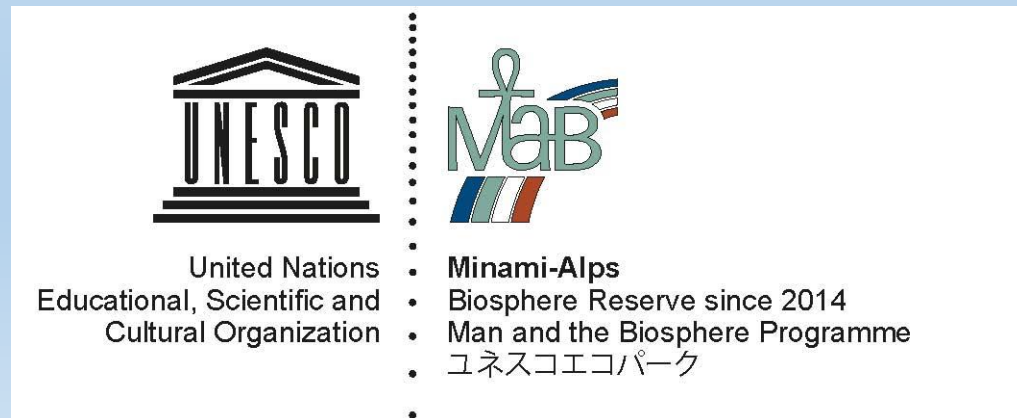
- ・南アルプスの山岳環境を永続的に保全していく体制づくりを行い、豊かな自然環境を守り伝えていくことができます。
- ・ユネスコエコパークとして、ふるさとの魅力を世界へ発信することで、国内外から観光や教育を目的とした旅行者の増加が期待できます。
- ・新しい法律や規制はありません。国内の既存の法律などで管理されます。
- ・環境教育や学術研究の実践の場として活用できます。

南アルプスユネスコエコパーク事業の目的

・甲斐駒ヶ岳を中心とした世界に誇れる貴重な資源を再発見・再認識し、自然と文化のつながりを市民共有の財産として位置づけ、優れた自然環境の継続的、永続的な利活用をはかりながら、魅力あるまちづくりを進めることを目的としています。

（北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会規約より抜粋）

・この目的を達成するため、北杜市では市民、企業、団体、行政が一体となり、『北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会』を設立して、市と協働で事業を実施しています。



平成27年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

■ 予算額 24,256千円 決算額 18,998千円

1. アドバイザーへの相談とアドバイス

椎川忍氏(北杜市地域力創造アドバイザー)及び山田桂一郎氏(観光カリスマ・南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会アドバイザー)による事業を実施する上でのアドバイス。

山田桂一郎氏による講演会 →
研修会 ↓



2. 先進地の視察研修(静岡県川根本町)

南アルプスユネスコエコパーク構成市町村の静岡県川根本町を視察し、川根本町のユネスコエコパークの取組を研修して、今後の事業の参考とした。(エコツーリズム、川根茶、施設) 実施額149千円



静岡県川根本町の研修 ↑

← 静岡茶(ブランド)の研修

平成27年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

3. 甲斐駒ヶ岳登山道の清掃作業

甲斐駒ヶ岳登山道にあるゴミの撤去作業を実施し、集めたゴミはヘリコプターで降ろして撤去することで環境の保全・美化に努めた。9月30日ゴミの撤去
10月26日ゴミ処分 実施額1,020千円



清掃登山と処理の様子



4. 外来種除去にかかる種子落としマットの設置

核心及び緩衝地域の入口に種子落としマットを設置し、外来種の持込を防ぎ環境保全に努めた。

実施額22千円



種子落としマットの設置状況

平成27年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

5. ユネスコエコパークのPRと周知

甲斐駒エリアふるさと祭り(武川)及び甲斐駒の里名水まつり(白州)並びに市環境フェスタ等で、南アルプスユネスコエコパークのブースを設置し、ユネスコエコパークのPRと関係市町村の紹介を実施

道の駅はくしゅうや甲斐駒センターせせらぎなどの情報発信コーナーを充実してユネスコエコパークの周知をはかる。実施額4,863千円



名水まつりでのPR



道の駅はくしゅう



甲斐駒センターせせらぎ

パンフレット及び啓発ポスター並びにPR映像を制作してPRと周知につとめる

平成27年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

登山者数や観光客数を把握し、今後の事業と参考とするため、登山者カウンターを設置

実施額885千円

観光客にとって安全、安心、快適な観光地づくりを実施 看板整備及び溪谷道等の整備を実施
実施額9,860千円



登山者カウンター尾白川溪谷入口



登山者カウンター精進ヶ滝入口



案内看板

平成27年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

溪谷道の整備を実施



尾白川溪谷道工事状況



6. 関係自治体との連携

3県10市町村で組織する協議会及び山梨県連絡協議会での実施事業への協力 実施額939千円



10市町村で南アルプスユネスコエコパークをPR

南アルプスをPRし、市民に再認識してもらおう
とともに、後世に守り伝えるため、魅力あるま
ちづくりを推進して参ります！
ご静聴ありがとうございました。